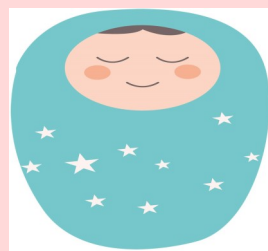


赤ちゃんの頭の形でお悩みの方へ
「赤ちゃんの頭の形外来」
ご案内



赤ちゃんの向き癖により頭が変形し、ときには耳たぶやおでこの位置がずれたりします。

我が国では「自然に治るもの」と放置されてきましたが、アメリカでは頭の変形を改善する研究が盛んで50種類以上の形状誘導ヘルメットがFDAによって承認されています。今回、国立成育医療研究センターで有効であると認められた、ミシガン大学式頭蓋形状誘導ヘルメットを用いた治療を、高槻病院小児脳神経外科で開始します。

- ◆対象となる方：当院で頭位性斜頭と診断された生後3～12カ月の児
- ◆治療開始まで：まず小児脳神経外科一般外来を受診してください。頭蓋形状測定（図1）やアンケート調査などにより、治療適応を判断します。
- ◆治療の実際：治療適応と判断され、治療に同意された段階で治療開始となります（ここからは自由診療となり、健康保険は適用されません）。治療に用いるヘルメット（図2）作成のため、レーザースキャナーにて頭蓋形状を測定します（図3）。ヘルメット着用期間は約6カ月間です。



【図1】



【図2】



【図3】

詳細は小児脳神経外科外来までお問い合わせください

高槻病院 小児脳神経外科

TEL : 072-681-3801(代)